

5年生保護者の皆様

丹波篠山市立岡野小学校 校長 足立 貞治

5年生『丹波篠山市学力状況調査』の結果について

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施されています。本調査について分析結果をまとめました。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえつつ、保護者・地域の皆様のご理解とご協力のもとに適切に連携を図りながら一層の指導上の工夫改善に努めます。

〈国語〉

○成果……我が国の言語文化に関する事項、読む力

「我が国の言語文化に関する事項」の正答率は、86.7%（目標値65%）、「物語文の内容を読み取る」の正答率は86.7%（目標値71.7%）でした。また、領域別では、物語を読む力が目標値を上回っており、一定の成果が出ていると言えます。

●課題……文章を書く領域

目標値との差が大きかったのは、正答率30%（目標値47.5%）の「自分の考えとそれを支える事例との関係を明確にして文章を書く」こと。また、正答率30%（目標値60%）①「7行～9行で書くこと」②「2段落構成で書くこと」など、指定された条件に基づいて、自分の考えを明確にして文章の構成を考えて書く問題でした。

☆課題克服に向けて取り組んでいきたいこと

国語科において、物語文を読む力は身につけている一方、調べたことをもとに伝えたいことを明確にして書くことができる力を伸ばしたり、文章の構成を考えて指定された条件に合うように文章を書くことができる力を伸ばしたりしていくことが必要です。そのために、これまでも取り組んできた朝のモジュール学習を活用して、条件つき作文に取り組む指導を続け、書く力の育成に向けて今後も取り組んでいきます。

〈算数〉

○成果……分数、面積

算数科の領域においては、「分数」の領域での正答率は、82.2%（目標値78.3%）、「面積」の領域での正答率が、83.3%（目標値77.5%）とよくできていました。

●課題……わり算・計算のきまり、角の大きさ

目標値との差が大きかったのは、正答率40%（目標値61.7%）の「わり算・計算のきまり」の領域で、3けた÷2けた=2けた（余りのあるわり算）の計算問題や四則の混じった式の計算順序を理解しているかどうかの問題でした。また、正答率26.7%（目標値55%）の「角の大きさ」の領域では、1組の三角定規を組み合わせてできる角の大きさを求める問題やその求め方を記述式で説明できるかどうかを見る問題に課題があることがわかりました。

☆課題克服に向けて取り組んでいきたいこと

算数科においては、2けたのわり算の筆算など、繰り返して計算問題を解くことで基礎的な力を高めることができます。また、角の大きさを求める学習では、分度器を正しく使えるように指導することと同時に、三角定規を組み合わせてできる角の大きさを求める復習についても指導していきます。さらに、考えたことを説明したり、表現したりする思考力・判断力・表現力を高められるように指導をしていきます。

【保護者の皆様へのお願い】

市調査の結果から、国語科では文章を書く領域、算数科では基礎的な計算領域での課題があることがわかりました。ご家庭でも、宿題で作文を書いたり、計算問題を解いたりする時は、お子様の様子を見ていただくと幸いです。家庭学習の習慣がますます大切になってきますので、どうぞご協力のほどよろしくお願い致します。